



三弦

歴史と特色

三弦は通称三味線とよばれ、邦楽や民謡に欠かせない民族楽器として、芸能遊芸の盛んな金沢に受け継がれているもので、藩政時代東・西・主計町の花柳界を中心に発展した。金沢で製造され始めた年代は明らかではないが、文久2年(1862年)作の三弦が現存している。昭和初期をピークに戦前は玄人が主であったが、戦後は邦楽の普及や民謡ブームのため素人にも広まり需要は増加してきている。

規格品であきたらない演奏者の高級品を求める声もあるが、あくまで音色が重視され、義太夫、常盤津、清元、地唄、長唄、民謡と多種多様の需要に対応できる高度な技術保持者は少なくなってきている。材料は固い木がよく、棹の最高級品はインド産の紅木、次いで紫檀、果林である。胴はすべて果林を用い、皮は猫又は犬の皮を用いている。

HISTORY & FEATURES

The *sangen*, or *shamisen*, is a traditional musical instrument that has been handed down through the generations in Kanazawa, a city of traditional music and stage performance. It originally developed in the three amusement districts of the city in the feudal days, and the oldest *sangen*, made in 1862, is still in existence. The neck is made of hard woods such as Indian ruby wood, rosewood and padauk, and the body is made of padauk.

情報 INFORMATION

主な生産地	金沢市(Kanazawa City)	主な製品名	三味線(Shamisens)
主な生産者	福島三弦店(Fukushima Sangen Shop) 〒920-0831 金沢市東山1-1-8 TEL (076)252-3703 安田琴三弦店(Yasuda Koto and Sangen Shop) 〒921-8031 金沢市野町2-2-32 TEL (076)241-1423		



歴史と特色

慶長14年(1609年)加賀藩主が播磨から革細工の名人と言われた佐衛門五郎を金沢に招いたのが始まりと言われている。加賀藩は外様大名であったため、武芸より文化芸能に力を入れたことで、軍事用の外、能楽、雅楽、神事、仏事、祭礼用の楽器として太鼓の需要が多かった。明治以降も順調で、昭和初期には県内で10軒程度が製造していたが、第2次世界大戦中1軒に整理され、現在も伝統技術を伝えている。原木のケヤキ、セン等の乾燥から始める一貫作業で、皮の処理に昔ながらの技法を用いることや、霊峰白山より流れる手取川の水質がよいため、皮が丈夫で音が良いことで全国に知られている。特に、胴の長さ2.5m、皮の直径2m以上の大太鼓も製作し注目を集めている。

HISTORY & FEATURES

Since the lords of Kaga Province promoted culture and artistic performance, there was a great demand for drums to be used in Noh plays, Shinto music and dancing, Shinto and Buddhist rituals and local festivals. Kaga drums are known for the durability of their skin and their good sound. Giant drums measuring 2.5m in length and 2m in diameter are attracting attention.

情報 INFORMATION

主な生産地	白山市(Hakusan City)	主な製品名	長胴太鼓(Long-body drums)
主な生産者	(株)浅野太鼓楽器店(Asano Taiko Co., Ltd.) 〒924-0051 白山市福留町587-1 TEL (076)277-1717		

太鼓